

東京及び首都圏の将来像と その実現に向けた施策に関する意見 【概要】

—「事業を続ける・したくなる」「楽しく、快適、集いたくなる」
都市・東京の実現へ—

2019年6月13日

これまでの首都圏問題委員会の活動について

東京と地方が共に栄える真の地方創生にとって、重要な基盤となるのは、
人流・物流の円滑化を促すためのインフラとの考え方のもと
東京及び首都圏の都市基盤整備に向け、ハード、ソフトの両面から以下の活動等を実施

●意見・要望活動

社会資本整備に関する要望(国土交通省、東京都)

(2017年6月)

国際競争力強化に向けた要望(国土交通省、東京都)

(2018年6月)

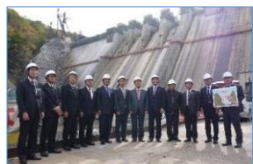
●国土交通省との官民連携促進プロジェクト(2016年～)

(国土交通省との意見交換会、ストック効果の「見える化・見せる化」に向けた視察等

安心・安全

国際競争力強化

世界からの投資の呼び込み



ハツ場ダム



首都圏外郭放水路



外環道(関越・東名/千葉外環)



横浜港



羽田空港

前回

インフラ整備のうち、課題解決が急務であるもの、社会的に特に重要なものを「重点要望項目」として設定し、要望を策定



今回

事業者の立場から、東京及び首都圏のあるべき姿(将来像)を改めて議論し、その上で足元の施策進捗状況をも踏まえ、要望を策定

今回要望の考え方

わが国を取り巻く課題

経済成長率引上げ

人口減少・少子化
・高齢化への対策

・国際化
・技術革新
・インフラ・建物の老朽化対策
・防災・減災対策 等

手をこまねいていれば、世界経済に占める日本の地位は低下し続け、国力を損なう恐れ

課題を乗り越えていくためには

- ・世界からヒト・モノ・カネ・情報を引き寄せ、
 - ・経済の原動力である民間事業者の積極的な事業展開を実現し、
- 日本の成長する力を強化する必要

そのための鍵

○首都・東京の多種多様な魅力が複合的に花開き、世界に発信されることを通じ、「**日本の成長エンジン**」であり続けること

○国内外との直結により、「**東京と地方の共生の実現**」を果たすこと

(その実現に向けては)

事業主が

事業を続ける・事業をしたくなる

人々が

楽しさ、快適さを感じ、集いたくなる

都市の形成

今回要望の考え方

こうした都市のあるべき姿を

事業主(国内)
事業をしたい

海外企業・人材
投資をしたい

(訪日)観光客
訪れたい

住民
住みたい

の観点から検討

<検討結果>

	都市の基盤	多種多様の魅力	各地域との直結
	安心・安全 持続的な成長	交流を生み出す拠点・魅力の創出・再生	魅力をつなげるネットワークの充実・連携
事業主 (国内)	①安心して設備更新等、事業継続・拡大・創業できる ②安心して研究開発ができる	①金融・情報通信・サービス業をはじめ多種多様の産業が集積 ②技術・イノベーションにあふれ、クローズドでなくオープンで寛容性のあるまちづくり	①地域間連携の深化によるビジネスチャンスの拡大 ②円滑な人流・物流促進
海外企業・人材	③安心して投資や居住できる (SDGsへの対応・諸手続きの緩和)	③投資に資する市場規模・成長性と複雑性がある(多数の魅力)	③国際アクセス・東京と各地域との交通の充実
(訪日)観光客	④言語等に関わらず安心して滞在できる	④多数の魅力があり何度も訪れたいくなる	④都市内・都市間のシームレスな移動環境
住民	⑤老若男女問わず、安心かつ快適に生活・就業ができる	⑤様々なライフスタイルに応じた住環境	⑤二地域居住等、居住のあり方の選択肢拡大

上記の各要素を支えるために必要な基盤

①施策のスピードアップ(合意形成のあり方) ②新技術の迅速な社会実装
 ③外国人増加を見据えた多様性の受入 ④都市づくりの担い手、技能人材の確保・育成など

東京及び首都圏の将来像の実現に向けた施策
に関する要望事項
〈 要望先：国土交通省・東京都 〉

将来像の実現に向けた要望

都市の基盤

安心・安全
持続的な成長

【主要要望項目】 ※赤字は重点要望項目

(1)事業・居住環境(建物・インフラ)

重要な要素 事業所、住居の機能更新、高度化 等

○土地利用の更なる高度化と都市計画の運用
(都心はもとより郊外においても用途地域の柔軟な運用等)

(2)災害の不安解消

重要な要素 災害の事前対策、事後対策 等

○緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進 等

(3)環境都市

重要な要素 快適な環境
省エネ・地域の低炭素化 等

○水辺や緑の空間を活かした
魅力ある景観の形成、舟運の活性化
○スマートシティに向けた取組の推進 等

(4)コミュニティ再生・共助社会

重要な要素 支え合う社会の実現・コミュニティの活性化
(エリアマネジメント、バリアフリー等の重要性)

○コミュニティの維持や地域の魅力向上に資する
エリアマネジメントの推進
(セミナー等による人材育成などエリアマネジメント団体運営に対する支援) 等

将来像の実現に向けた要望

都市の基盤

安心・安全 持続的な成長

【要望項目】 ※赤字は重点要望項目

(1)事業・居住環境(建物・インフラ)

- ①**オフィス・住宅の機能更新の柔軟かつスピードアップを可能とする土地利用の更なる高度化と都市計画の運用**
- ②重要なインフラの老朽化対策の推進(高速道路、橋梁・トンネル等)
- ③集約型地域構造への再編(コンパクトシティ化の促進)
- ④空き家・空き地対策の推進
- ⑤老朽マンション、団地、ニュータウンの再生及び耐震化の促進、更新に併せた保育施設や高齢者支援施設の設置促進
- ⑥住宅をはじめとした既存ストックの活用促進
- ⑦木密地域等密集市街地の早期改善
- ⑧無電柱化の推進
- ⑨効率的・効果的な地籍調査の推進

(2)災害の不安解消

- ①緊急輸送道路沿道建築物や、商業施設、病院等、多数の者が利用する建築物の耐震化促進
- ②東京港等の耐震強化岸壁の整備、羽田空港の耐震化・液状化対策の推進と災害時の避難誘導及び早期復旧体制の確立
- ③地下街、地下駅等の浸水対策の推進

- ④河川、海岸保全施設の耐震・耐水対策(水門、排水機場・堤防等)の推進
- ⑤ストック効果の高い根幹的治水施設の整備(ダム、堤防等)
- ⑥地域全体の防災力向上にも資する都市政策の推進(民間による再開発プロジェクト推進、BCDの整備、エリア防災の推進等)

(3)環境都市

- ①水辺や緑の空間を活かした魅力ある景観の形成、舟運の活性化
- ②道路空間や沿道の温度上昇抑制対策の推進
- ③水素・燃料電池等、次世代を先導する環境都市の実現

(4)コミュニティ再生・共助社会

- ①コミュニティの維持や地域の魅力向上に資するエリアマネジメントの推進
- ②交通機関や公共空間におけるバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進、「声かけ・サポート運動」の推進
- ③訪日外国人への多言語案内表示の推進
- ④高速道路と生活道路の安全・安心対策の推進

将来像の実現に向けた要望

多種多様の魅力

交流を生み出す 拠点・魅力の創出・再生

重要な要素

(A) 特色ある産業の集積

(B) 技術革新・イノベーション

(C) 交通結節点等を基軸とした
大規模商業施設・マーケット

(D) 個性溢れる商業施設等

(E) 滞在・交流関連施設

(F) ライフスタイルに応じた
住居・生活環境（職住近接・テレワーク等）

(G) 学校・研究施設（連携）

(H) 芸術・文化伝統（エンターテインメント・歴史再生）

(I) 自然・スポーツ（都市公園、水辺空間）

【要望項目】 ※赤字は重点要望項目

① 民間活力による都市再生の推進

- ◆（特定）都市再生緊急整備地域の拡大、施策の活用推進
- ◆ 国家戦略特区の特例に基づく都市再生プロジェクトの推進
- ◆ オフィス・住宅の機能更新の柔軟かつスピードアップを可能とする土地利用の更なる高度化と都市計画の運用

② 国際的ビジネス環境整備の推進

- ◆ 国際ビジネス環境の整備に対する支援の拡充
- ◆ 国際イベントへの出展や、外国企業及び外国人の受入相談体制の充実など、さらなるシティセールスの促進

③ 楽しさやオープンな交流の創出に向けたソフト面からの都市政策の推進

- ◆ クローズドでなくオープンで寛容性のあるまちづくり、交流拠点の創出・充実に向けた取組促進

④ 立体道路制度による道路空間の利活用

- ◆ 国道15号、品川駅西口駅前広場等立体道路制度の積極的な展開

⑤ 訪日外国人旅行客の受入に伴う都市基盤の充実

- ◆ 増改築や用途変更等、容積率の活用等を通じた多様な宿泊施設の供給促進
- ◆ 貸切バス専用の乗降スペースや駐車場の確保
- ◆ 無料Wi-Fi利用環境の向上

【参考】東京の多種多様な魅力の例

(写真: 東京都等)

9

(A) 特色ある産業の集積（金融、クリエイティブ、IT、ものづくり等）

- ・現状では、金融・保険業、情報通信業、サービス業（卸小売・広告等）が特に集積
- ・一方、都内全体の工場は約3万か所であるなど、世界レベルのものづくりも重要



大手町・都の内



国際金融軸
(丸の内～茅場町)



ものづくり（大田区）



住工共存（大田区）

(B) 技術革新・イノベーション（知的交流施設・シェアオフィス等）

- ・国際都市として、技術革新・イノベーションが生まれ「続ける」都市であることが不可欠
- ・そのためにも、企業の集積やプラットフォーム（知的交流施設等）の充実が重要



ベンチャー・起業家の
集積（汐留・新橋）



Clipコホンパン



カリタBA（二子玉川）



ICT企業集積と
産学連携（秋葉原）

(C) 交通結節点等を基軸とした大規模商業施設・マーケット

- ・東京の高密度な交通ネットワーク等も活かし、投資効果のある世界有数のテストマーケットになるような、様々な複合施設等が期待



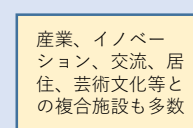
銀座



新宿



渋谷



産業、イノベーション、交流、居住、芸術文化等との複合施設も多数

(D) 個性溢れる商業施設等（商店街・サブカルチャー等）

- ・魅力が多種多様で、かつ、何度も訪れたいような複雑性が期待
- ・従来からの態様を維持しつつ、新たな価値創造にも資する様々な集積が期待



原宿・表参道



アメ横横丁（上野）



ブロードウェイ（中野）



神楽坂

+ (A)～(I)の要素が複合した施設

+ 安心・安全、持続可能な環境

+ エリアマネジメントによる活性化、情報発信等



ナイトタイム・水辺空間（丸の内）



まちぐるみでのイベント（渋谷）



木密解消後の
グリーンゾーンの活用（荒川区）



連続立体交差・無電柱化（練馬）

(E) 滞在・交流関連施設（宿泊・滞在・国際会議施設等）

- ・訪日外国人旅行者数2020年4,000万人、2030年6,000万人の受入や、国内外のビジネス、研究人材にとって、快適かつ深みのある滞在・交流が、実現する環境整備が重要



計画・田町



赤坂・六本木・虎ノ門



都内主要ホテル



老朽建物の宿泊施設化
(豊島区)

(F) ライフスタイルに応じた住居・生活環境（職住近接・テレワーク等）

- ・都心回帰の傾向が続く中、老若男女に関わらない居住環境の充実が必要
- ・都心は国際人材にも対応する医療・介護・教育、郊外では集約型の都市づくり・再生が重要



サービス・ネット



晴海（豊手村）



住居・地産再生
(豊島区)



落ち着いた都心の
住宅（千駄木）

(G) 学校・研究施設（連携）

- ・人材確保、人材育成や技術革新、イノベーション等、いずれの観点からも学校・研究施設の充実や連携は極めて重要（23区の学校設置抑制をどう考えるか）



都立産業技術研究
センター（豊島区）



学校の集積
(文京区と都立工芸高校)



工業資料作品展示
(都庁)



首都大学東京

(H) 芸術・文化伝統（エンターテインメント・歴史再生）

- ・魅力が多種多様で、かつ、何度も訪れたいような複雑性が期待
- ・旧来からの歴史・文化の更なる魅力向上や、新たな芸術・文化を育成できる環境が期待



路上美術館（池袋）



アニメのまち（練馬区・杉並区）



浅草



能楽堂（GINZASIX）

(I) 自然・スポーツ（都市公園、水辺空間）

- ・歴史ある水辺空間の利用や、東京都がとりわけ重視している「緑」の充実が安全・安心な都市づくりや魅力の向上にとって重要。都心と郊外それぞれの役割を踏まえた対応が必要



墨田公園
(墨田区)



日本橋再生



オリンピック
アウテックス
センター周辺



天王洲

将来像の実現に向けた要望

各地域との直結

魅力をつなげる ネットワークの充実・連携

(1) 国際アクセス

重要な要素

- ・就航都市増加、空港機能充実
- ・都心と首都圏空港が直結
- ・国際港湾機能充実 等

【主な要望項目】 ※赤字は重点要望項目

- 首都圏空港処理能力強化・就航都市数増加
(羽田空港飛行ルート見直しの完遂、新たな滑走路の検討)
横田基地の軍民共用化と横田空域を含めた航空管制見直し推進
- 都心と首都圏空港間のアクセス改善をはじめとした鉄道交通網の強化
- 国際海上コンテナターミナル整備事業の推進(京浜港) 等

(2) 都市間・地域内交通・ 物流と対流の促進

重要な要素

- ・高速交通ネットワーク充実
- ・鉄道網や道路網の充実
- ・企業間連携が促進される環境整備
(東京と地方の企業マッチング等)

- 首都圏三環状道路の整備(外環道、圏央道)
- 主要な国道の整備推進【国】
- 都心と臨海部を結ぶ幹線道路(環2)、BRTの整備促進【都】
- リニア中央新幹線を契機としたスーパー・メガリージョンの形成
(各地域の商品を世界に発信する、地方創生と国際競争力を組み合わせたプラットフォーム機能の充実等)

将来像の実現に向けた要望

各地域との直結

魅力をつなげる ネットワークの充実・連携

【要望項目】 ※赤字は重点要望項目

(1)国際アクセス

- ①首都圏空港処理能力強化・就航都市数増加、横田基地の軍民共用化と横田空域を含めた航空管制見直し推進
- ②都心と首都圏空港間のアクセス改善をはじめとした鉄道交通網の強化
- ③国際海上コンテナターミナル整備事業の推進（京浜港）
- ④大型クルーズ客船埠頭の整備推進等



外環（千葉県区間）H30年6月2日開通
（国交省関東地方整備局資料より）



外環（関越～東名）東名JCT（本線シールドトンネル）（国交省関東地方整備局資料より）

(2)都市間・地域内交通・物流と対流の促進

- ①首都圏三環状道路の整備（外環道、圏央道）
- ②首都圏の高速道路等の渋滞対策の実施（ボトルネック地点の解消）
- ③スマートインターチェンジの設置促進、高速道路からの一時退出が可能な「賢い料金」の拡充【国】
- ④主要な国道の整備推進【国】
- ⑤都心と臨海部を結ぶ幹線道路（環2）、BRTの整備促進【都】
- ⑥物流生産性革命の深化及び関連施設の整備
- ⑦大会輸送を契機とした都心における物流対策の推進
- ⑧踏切対策および連続立体交差事業の推進
主要な鉄道駅など交通結節点における施設整備の促進
- ⑨バスや新たなモビリティサービス等、中規模な公共交通の整備
- ⑩ソフト面におけるシームレスな移動環境の充実（MaaS等）
- ⑪リニア中央新幹線を契機としたスーパー・メガリージョンの形成

将来像の実現に向けた要望

上記の各要素を支えるために必要な基盤

【主な要望項目】

- ①施策のスピードアップ(合意形成のあり方)
- ②新技術の迅速な社会実装
- ③外国人増加を見据えた多様性の受入促進
(居住・医療・教育等の受入環境整備)
- ④建設現場の担い手、技能人材の確保・育成
- ⑤建設現場の生産性向上(「i-Construction」の推進)
- ⑥運輸業(トラックドライバー)の担い手確保・育成
- ⑦国土交通省「生産性革命」の推進とインフラシステムの
海外展開【国】
- ⑧インフラのストック効果の見える化・見せる化
(施策推進に向けた国民への周知)【国】
- ⑨東京2020大会期間中の「円滑な大会輸送」と「経済
活動の安定」の両立実現【都】



ロボットやセンサーによる管理状況のデジタルデータ化、3次元点検データによる可視化が進められている(国交省関東地方整備局資料より)



2019年度完成予定のハツ場ダム(群馬県)は、洪水調節・流水の正常な機能の維持、水道及び工業用水の新たな確保並びに発電を目的とする多目的ダムであり、大きなストック効果が期待される(左:ダム上流、右:ダム下流の建設現場。2018年10月)